



根堀台だより

平成29年4月10日

第 3 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

新入生34名を加え チーム由利中出発！



3年〇〇〇〇さん



1年〇〇〇〇〇〇さん

4月6日(木)、天気にも恵まれ、温かな日差しの中、「平成29年度第54期生由利中学校入学式」が挙行されました。当日は由利本荘市議会議長〇〇〇〇様、由利本荘市教育委員会教育委員〇〇〇〇様はじめ、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、お陰様で盛大かつ厳粛に式典を執り行うことができました。

34名の新入生は真新しい制服に身を包み、少し緊張の面持ちで入場しましたが、学級担任の呼名に全員が大きな、元気な声で返事をして起立していました。式辞の最中もまっすぐな眼差しで壇上を見つめて話を聞く姿は大変立派で、感心しました。また、「先輩として後輩をしっかり支えていきたい」という〇〇〇〇さんの歓迎の言葉と、「先輩の姿から多くのことを学び、伝統を引き継いでいきたい」という〇〇〇〇〇〇さんの「入学の言葉」に50周年から新たな気持ちでスタートしようとする子どもたちの意気込みを強く感じました。

平成29年度入学式式辞から

根堀台の学舎から望む、気高く美しい鳥海山。芽吹き始めた桜の梢を渡る温かな春の風。北国の長かった冬も終わり、生きるものすべてに「命の息吹」みなぎる「希望の季節」を迎えました。今日この佳き日、平成29年度由利中学校入学式を挙行するに当たり、由利本荘市議会議長 ○○○○ 様、由利本荘市教育委員会教育委員 ○○○○ 様はじめ、多数のご来賓の皆様、並びに保護者の皆様のご臨席を賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、本日由利中学校に入学した第54期生 34名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。真新しい中学校の制服に身を包み、凜とした態度や元気溢れる返事、そんな皆さんの姿に、これから始まる中学校生活への大きな夢と希望を強く感じました。由利中学校では、校訓「進歩」「健康」「協力」のもと、「自ら学び 心身を鍛える 感性豊かな生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、「目標を持ち 進んで学習する生徒」「心身を鍛え 最後までやり抜く生徒」「思いやりの心を持ち 協力して活動する生徒」の育成を目指し、教育活動に取り組んできました。新入生の皆さんは今日から私たち「チーム由利中」の大切な仲間です。これからはじまる中学校生活は、学習・生活の両面で、2・3年生の先輩たちの頑張る姿を目標にして、「心ひとつに」取り組んでいって下さい。

中学校は『自分のよさに気づいて、さらによりよい方向に自分を変えていくところ』、そして、やがて社会の中で何らかの役割を果たしながら、「なりたい自分」を目指し、自分の人生を生き生きと楽しく過ごすために、『様々な力を、意識して身に付ける最初の段階』でもあるのです。先月行われた由利小学校の卒業式の壇上で、皆さんは自分の夢について発表をしました。今日から、その夢に近づき、その夢を実現するための3年間が始まります。希望にあふれた君たちの未来に向かって、「夢」への第一歩を踏み出したこととなります。誰にでも「なりたい自分」という「夢」があり、皆さんの胸の中には「未来の自分」というとても大きな地図が描かれていることだと思います。自分の夢である「なりたい自分」を決めたなら、そこから「夢の実現」に向けて、一步一步着実に努力を続けることです。でも「夢」を叶えることは決して簡単ではありません。その過程には、崖道のような険しい道もあれば、山道のような難儀する道もあると思います。もしかすると暗がりの中に迷い込み、道に迷うことがあるかもしれません。そんな時であっても、自分を信じ、こつこつと前へ進み続けることです。「続いてこそ道」「継続は力なり」という言葉があります。"Today, tomorrow and the next day, I must go on."「私は今日も明日もその次の日も自分の道を進まねばならない。」must 「しなければならない」のは、それが自分にとって「必要なこと」だからです。

「春風(しゅんぷう)や 闘志抱きて 丘に立つ」これは高浜虚子の句です。この句から、自ら目標を立て、それに立ち向かう、逆境に凜として立つ青年の姿が思い浮かびます。この春風(しゅんぷう)はまだ身を切るように、冷たく、強い「向かい風」です。小高い丘から眼下を一望した時、そこで自分の未来に思いを馳せ、春の風に命を、息吹を与えられて生まれた感慨が「闘志」であったのです。「希望」や「夢」を叶えたいという強い思い、「闘志」であるということがこの句の特徴です。これまで自分自身に設けていた限界という枠を取り払い、今までの自分から抜け出して飛躍していく、新たな自分を知る可能性への挑戦が「闘志」なのです。「闘志」は「夢あきらめない」心です。

人には本気で立ち向かわなければならない時が人生で何度かあります。中学校時代がまさにその時といえます。小学校の時に「できなかったこと」、「分からなかったこと」、「途中で投げ出してしまったこと」はありませんか。本気で学び、本気で心と体を鍛える時がやってきたのです。皆さんが「なりたい自分」となるためには、まず学習・生活両面で、具体的な目標を立て、決めたことは「毎日必ずやること」それを「1年間やり遂げること」で大きな力がつき、それが自分を生かす個性や能力となるのです。そして、どんな時でも感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、仲間を大切に想う心、人の痛みのわかる美しい心をもちましょう。君たちなら必ずできると信じています。皆さんの教室には「夢」という文字が飾られています。その文字をじっと見つめて下さい。するとその「夢」という文字は、皆さんに「夢あきらめない」と語りかけてくれるはずです。新入生の皆さん、「夢あきらめない」生き方をすることです。夢は未来に向かって進む大きな力となります。

34名の新入生の皆さん。皆さんの後ろにいる62名の先輩達は、勉強や生活、部活動、諸行事など様々な場面で全力で頑張る人たちばかりです。学校の勉強だけでなく、部活がある日でも家庭学習は毎日2時間以上頑張っています。本校の誇りである「立ち止まり挨拶」や「無言清掃」にも真剣に取り組む、皆さんをリードし、皆さんの見本となるよう頑張ってくれるとても頼もしい先輩達です。困ったことや分からないことがあったら、相談して下さい。きっと力になってくれるはずです。皆さんも先輩達のように、まずしっかりと「なりたい自分」を見付けることが大切です。また、皆さんが「なりたい自分」となることが私たち由利中教職員の夢でもあります。一人一人の心の中に大切な「夢」をもち、学校にはその夢を叶えることのできる「希望」があり、教職員はみんなの夢を叶えたいという強い「願い」をもって互いに「夢あきらめない」で「チーム由利中 心ひとつに」一緒に歩いていきましょう。

さて、保護者の皆様お子様のご入学おめでとうございます。これから始まる中学校生活は心身ともに大きく成長する3年間です。沢山の人たちとの出会いの中で、人間として大きく成長できるよう職員一同心一つにして指導にあたってまいります。保護者の皆様には「チーム由利中」の大切な一員として、PTA活動のみならず、物心両面でご支援頂くこととなりますが、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。終わりになりますが、ふるさと由利の明日を担う子供達が「なりたい自分」を目指し、「夢あきらめない」で、健やかに、心豊かに、たくましく成長することを願ひ、本日ご臨席いただきました皆様に、これまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。 平成29年4月6日 由利本荘市立由利中学校長 ○○ ○○